

令和2年(2020年)11月5日 (木曜日)

GW三島

「雷井戸」湧水見やすく

ふたなど老朽化 歴史的遺物に整備



「雷井戸」の新装作業を行うGW三島の関係者＝三島市南本町

かつて三島市の田町で知られていた「雷」か町の新装作業を、N簡易水道・水源地とし「みなり」井戸＝南本PO法人グラウンドワ

ーク三島(GW三島)が進めている。老朽化した井戸ふたや周囲を整備し、歴史的価値のある遺物として公開していききたいという。

この井戸は、地域住民に飲料水を供給していたが、管理費用と衛生面の問題で閉鎖され、現在、住民は水道水を使っている。

同NPOは、井戸を維持管理しながら、湧水で三島梅花藻を育成している。井戸は直径約3メートル、深さ約1・5メートルで、フツツと湧く水面が確認できる。「雷井戸」の由来には、雷が落ちて水が湧いたという説があるが、はっきりしないという。

今回、老朽化した井戸ふたを松の木を加工して作り直し、隙間を広げて周囲から湧水の状態を見やすくする。また、古いデッキを撤去して網を張り、隣接する壁部分を含め塗装する。

このほど、最初の作業を行った同NPOの渡辺豊博専務は「しっかりとした見学場所になるように整えたい」と話した。問い合わせは同NPOへ電055(083)0136へ。